

青少年育成常総市民会議会報

令和8年3月31日発行 第18号

第12回常総市少年の主張大会



第12回 常総市少年の主張大会を開催

発表者・司会者・演題めぐり・大会実行委員との記念撮影

会場：地域交流センター（豊田城）

就任のごあいさつ

青少年育成常総市民会議

会長 小野 孝 浩



日頃より当団体の活動に、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度より会長を拝命いたしました。

近年、いちだんと少子高齢化が進み、都市への人口集中と地方の人口流出が相まって、労働あるいは生産の担い手不足が大きな課題となっています。

この四月には子ども・子育て支援金が始まり、社会が子どもや子育て世代を応援することにより、その子どもたちがやがて成長して社会の担い手となったときに高齢者を支え還元していくという『支え合い循環』の考え方をしています。

また、当市のように多くの外国人が暮らす多様な文化や価値観がある地域では、互いに尊重し認め合う「多文化共生」の視点がますます重要となります。活動の対象となる青少年はそのままではとても不安定であり、社会が大切に見守り育てることが重要です。当団体は、学校・家庭・地域と連携しながら子どもたちの健やかな成長を支える活動を推進してまいります。

今後とも市民の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

第12回常総市少年の主張大会

常総市少年の主張大会



最優秀賞 戸塚 心絆さん



優秀賞 山口 桜里人さん



優秀賞 ウィジェウイクラマ ナデウさん



主張発表に臨む10名

令和七年九月十七日、地域交流センターにおいて、「常総市少年の主張大会実行委員会」主催による、「第十二回常総市少年の主張大会」が、常総市子ども会育成連合会、石下ライオンズクラブ、水海道ライオンズクラブの協賛のもとに開催されました。

少年の主張大会は、青少年が自らの思いや考えを社会に発信し、自信と誇りを持てるようにするとともに同年代との関わりを考える機会を提供し、地域の人々の青少年育成への理解を深めることを目的に実施しております。

市内五つの中学校から、十名の発表者が選出され、自身の豊かな感性をもとに、しっかりとした内容を自信を持って力強く主張し、来場者に共感や感動を与えていました。

最優秀賞を受賞したのは、『心のバリアフリーと吃音』というテーマで、自身の経験を通じて個性を大切にし、他者への理解を深める重要性について主張した、水海道西中学校二年 戸塚心絆さんでした。



受賞	氏名	中学校名	学年	発表テーマ
最優秀賞	戸塚 心絆	水海道西中学校	2年	心のバリアフリーと吃音
優秀賞	山口 桜里人	水海道第一高等学校附属中学校	2年	そのままの君でいい
優秀賞	ウィジェウイクラマ ナデウ	石下西中学校	1年	支え合う社会を目指して
優良賞	松尾 愛咲	水海道第一高等学校附属中学校	1年	近年の宗教に対する見方について
優良賞	カバレロ イエン	石下西中学校	2年	偏見のない明日に
優良賞	横山 夢翔	石下中学校	2年	目上の人を敬うこと
優良賞	中野 愛音	水海道西中学校	1年	挨拶は繋ぐ
優良賞	柴田 陽南士	水海道中学校	3年	心を合わせる大切さ
優良賞	生井 飛羽	石下中学校	2年	未来の僕へのプレゼント
優良賞	染谷 東吾	水海道中学校	3年	異国での出会いが教えてくれたこと

優良賞は発表順となります。*作品集が生涯学習課にございます。詳しくは、生涯学習課までお問い合わせください。



本部活動報告

『指導者講習会に参加して』

令和七年十月十一日、千代川公民館において、県西東部地区市町民会議連絡会の指導者講習会が開催されました。

講師は、古市佳央先生で「どんなことがあっても生き抜く力」と題して講演いただきました。

講演では、人とのつながりが重要であり、感謝する心、気づく力が必要であることを、ご自身が事故に遭う経験をしたこと、その後の実体験のことを交えながら、熱意を込めてお話くださいました。

また、講習会のオープニングセレモニーでは、坂田敦さんのピアノ演奏があり、参加者のみなさんは、とても有意義な時間を過ごすことができました。



『あいさつ・声かけ運動』

令和七年十一月四日、常総ふるさとまつり会場において、「あいさつ・声かけ運動」街頭キャンペーンを実施しました。

この運動は、地域の大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションを広げ、誰もがあいさつを交わし合う地域づくりを目的としています。

市内の小中学校と様々な団体が連携し、校門や通学路等でこの運動に取り組んでいます。

今後も引き続きこの運動を続けることで、あいさつが響き合う地域を目標に活動してまいります。

支部活動報告

本号では、十一支部ある中の三支部の活動をご紹介します。

『地域の中で』

できることを

大生支部長 松田隆男

今年実施した「自然観察会」や「ケーキづくり」に参加した子ども達の表情は、直接体験したことでも得た喜びに満ちた豊かな表情をしていました。当然のことながら、子ども達の関心は、「今」と「自分」が中心です。行事に参加後の子ども達の感想は、「楽しかった」「また参加したい」という声が多く聞かれました。

講師や運営に尽力された地域の皆様からは、未来を見据え、「自分と共に他者を思う」姿勢が伝わってきました。地域の先人がいたから今があり、子ども達がいるから未来があることを信じ、皆様のお力を借り、今後とも会の発展に努めてまいります。



『五箇の真心』

五箇支部長 小野孝浩

日頃より青少年育成活動にご支援ご協力いただき感謝申し上げます。

五箇には東西に首都圏中央連絡自動車道が走り、常総インターチェンジを降りるとすぐに商業施設「道の駅常総」があります。

五箇は昔から小貝川の豊かな水を利用して稲作が盛んな長閑な地域です。

私たちは豊かな自然の恵みをうけ地縁を大切にしながら力をあわせ暮らしています。これは五箇の伝統であり文化であり言わば真心です。

五箇の真心に育てられた子どもたちは純粋無垢でよい子ばかりです。

将来の五箇を担う子どもたちを健やかに育てることは私たちの責務であり五箇の真心で子どもたちを温かく見守っていただけたらありがたいです。



『支部の現況と』

今後の課題

水海道支部長 小故島浩

水海道支部は数年前まで、各町内会の子どもの会活動に対して援助してききました。

ただここ数年の少子化問題などがあり、各町内会の活動が難しくなり、子ども会そのものが無くなつてしまっている状況です。各町内も子ども達の為に活動したいとは思われますが、保護者の負担、予算の関係上、子ども会そのものが無くなつてしまっています。

常総市の他の支部会とは違い十三町内が各々予算を計上し活動しています。すから各町内が、協力し合つて数町内の子どもの会が、合併して活動することも難しいと思います。子ども達の為にも、各町内会の子どもの会が協力し合つて子ども達に応援出来る様に対策していかねければならないと考えます。



明るく楽しい家庭づくりの推進のため、市内の小中学校から「家庭の日」絵画・ポスターを募集しました。合計31作品の応募があり、令和7年10月11日～13日は生涯学習センターにおいて、令和7年10月17日～19日は石下庁舎において展示をしました。

来庁者の投票により選ばれた、4作品を茨城県青少年育成協会に推薦し、イオンモール水戸内原およびイオンモールつくばにおいて展示されました。



『みんなといると うれしいね!』
菅生小 1年 横島 澄玲さん

家庭の日 ポスター



『家族と花火へ』
飯沼小 2年 五月女 依央さん



『みんなでねるっていいな』
石下小 3年 秋田 楓さん



『家族の大切な時間』
水海道中 1年 横山 優唯さん

令和7年度 青少年育成常総市民会議役員名簿(敬称略) 令和8年2月末日現在

役職	氏名	所属団体	役職	氏名	所属団体
顧問	中 莖 道 夫	内守谷支部	常任委員	山 本 正 一	水海道ライオンズクラブ
会長	小 野 孝 浩	五箇支部	〃	菊 池 忠 男	石下ライオンズクラブ
副会長	篠 崎 孝 之	常総市自治区長連絡協議会	〃	福 田 崇	水海道第一高等学校
〃	染 谷 栄 一	常総市子ども会育成連合会	〃	幸 田 和 洋	水海道第二高等学校
〃	草 間 一 美	大花羽支部	〃	涌 井 太 郎	石下紫峰高等学校
常任委員	中 村 博 美	常総市議会	〃	高 島 伸 明	(一社)常総青年会議所
〃	服 部 仁 一	常総市教育委員会	〃	松 崎 重 勝	常総市公民館連絡会
〃	吉 原 茂	常総地区保護司会	〃	小 故 島 浩	水海道支部
〃	五 月 女 安 彦	常総市青少年相談員会、石下支部	〃	松 田 隆 男	大生支部
〃	前 橋 ナツエ	常総市更生保護女性会	〃	古 矢 和 美	三妻支部
〃	瀬 高 欣 一	常総市連合民生委員児童委員協議会	〃	小 瀧 豊 美	菅原支部
〃	武 藤 智 子	常総市女性団体連絡会	〃	石 塚 誠	豊岡支部
〃	青 葉 和 也	常総市小中学校 PTA 連絡協議会	〃	吉 岡 聡	坂手支部
〃	小 野 澤 俊 雄	常総市シルバークラブ連絡協議会	〃	倉 持 功	菅生支部
〃	清 家 康 浩	常総市校長連絡協議会	監事	土 田 博 史	五箇支部
〃	増 田 利 一	常総市スポーツ協会	〃	関 口 一 郎	菅原支部
〃	石 井 康 弘	水海道ロータリークラブ			